

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		育成支援 かけはし					公表日 2026年 2月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	✓		必要に応じて運動ルームや学習のスペースが確保できている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	✓		イベント等。応援が入れる体制になっている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		✓	階段を上るときは職員が見守りながら登るようにしている。	玄関入口に3段の階段があり、少し急になっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	✓		毎日の整理整頓・清掃ができています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	✓		宿題等に集中できない場合等、個別支援の空間や事務室を開放している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	✓		子どもが活動に興味を持ち、意欲的に参加できたか毎日改善点を話し合っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		保護者会にて説明を行っている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		毎月上旬に会議を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	✓		保護者会にて説明を行い評価につなげている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	✓		オンライン講習を受けている			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	✓		6ヶ月ごとに支援内容を見直している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	✓					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	✓		他分野との情報を共有して検討を行っている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	✓					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	✓					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	✓					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	✓		毎回参加内容を話し合っている			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	✓		静と動の活動日を分けている			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	✓		こどもの活動への参加意欲に応じて又能力に応じて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	✓		活動目的との内容を話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	✓		活動時の反応や行動を振り返っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	✓		日誌にて記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	✓		6ヶ月ごとにモニタリングを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	✓			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	✓		活動に参加出来るがしたいか確認をとって自分で判断出来る環境を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	✓		必死に応じて担当者も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	✓		アレルギーや行動特性を把握するために連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	✓		学校との情報を共有して送迎等を調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	✓		子どもの行動特性や問題等を事前に把握して対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	✓		現在は進学が主で事業所等への利用は無いが、過去の実例があり、対応できる体制である。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	✓		長い休み等で支援センターの利用を積極的に行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	✓		年に数回、避難訓練や交流活動に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		✓		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓		帳面やLINEなどで情報を伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	✓		モニタリングや担当者会議等で情報共有をしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓		児童発達管理責任者から説明がある。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	✓		作成前にニース等と把握するために話し合いの場を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	✓			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	✓		モニタリングの時や要望に応じて随時行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	✓		年に1回保護者会を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	✓		事実確認を行い、迅速に対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	✓		事前に活動に必要な情報をLINE等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓		十分に気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓		傾聴や相談を行い、必要な支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	✓		機会があれば積極的にセッティングをしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	✓		訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	✓		定期的に訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	✓		かかりつけの病院や保護者からの情報を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	✓		利用開始前に保護者等から聞き取りを行っている。対応児には一覧表で確認できるよう表示している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	✓		定期的に訓練等を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	✓		定期的に訓練等を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	✓		避難訓練等を計画的に伝えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓		定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	✓		身体拘束は行った事例は無いが、計画には記載している。	